

▼今月の『ポピー』の国語で学習するおもな内容と大切なことがらです。

📖の数字は、教科書のページ数です。

## 2年 風の ゆうびんやさん 📖 14~24

●詩を、リズムよく声に出して読みます。

●自分の名前を書く練習をします。

●自己紹介を通して、言葉による伝え合いを楽しみます。

●「あいいうえお」の文を、発音に気をつけて読んだり、「あいいうえお」を書き順に注意して書いたりします。

字を書くときは、ていねいに、  
ていねいという気持ちを  
もたせることが大事だワン。



●風の自転車に乗って、手紙を配達する郵便屋さんのお話です。

●場面の様子や、登場人物の気持ちを想像しながら音読します。

●配達されたもの

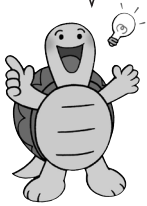
あげはちよう…パーティーの招待状

おじいさん犬…孫たちからの元気な手紙

すずめ…学校が始まるお知らせ

くも…小さな緑色の封筒

郵便屋さんは、  
ひゅっつと、すいすい、  
どこでも元気に配達  
するカメ。



## 1年 きこえるよ～ あいうえおの ことばを あつめよう 📖 0~21

●詩を、リズムよく声に出して読みます。

●「あいいうえお」の文を、発音に気をつけて読んだり、「あいいうえお」を書き順に注意して書いたりします。

字を書くときは、ていねいに、  
ていねいという気持ちを  
もたせることが大事だワン。



## 4年 こわれた千の楽器 📖 16~26

●こわれた楽器たちが一つになって、音楽を作り上げるという物語です。

●次の楽器たちの気持ちを読み取ります。

チェロ

「いいえ、わたしたちは、こわれてなんか

いません。」

ホルン

「ああ、もう一度えんそうがしたいなあ。」

ピアノ

「いや、できるかもしれない。いやいや、

きつとできる。」

楽器たち

「できた。」／「できた。」

一つになって、力を合わせるこの大切さを読み取ります。

## 3年 すいせんのラッパ 📖 16~28

●春が来て、すいせんのラッパで目を覚ますかえるたちの物語です。

●言葉のおもしろさに気をつけて、楽しく音読します。

●すいせんが、金色のラッパをふき鳴らす。

プップ・パッパ・パッパ・プー

ピリリ・ピッピー・ランパッパ・ピー



かえるのダンサーだ！  
びよん、びよん。

かえるの横綱だ！  
どっすん、どっすん。



## 6年 さなぎたちの教室 📖 16~32

●一人できると気持ちが落ち着くと感じる「わたし」が、人と関わることで少しずつ変わっていく物語です。

●人物どうしの関わりと、「わたし」の心情の変化を読み取ります。

わたし…じゃんけんで生き物係になる。

世話するいも虫（アゲハの幼虫）は苦

手だが、頑張って世話をしている。

松田君…生き物係。虫やカタツムリが好

き。最初に羽化したちようはわたし

空に放していいと約束してくれた。

高月さん…声が穏やかな人。話してみ

と、少し分り合えた気がする。羽化したちようをいっしょに放そうと誘うと、えがおでうなずいてくれた。

## 5年 おにぎり石の伝説 📖 16~30

●真のクラスで起きた、おにぎり石の物語です。

●登場人物の心情の変化を読み取ります。

1 学校のうら庭で見つけた、指先サイズのきれいな三角形の石。クラスのみんなが競って探すようになり、数々の「おにぎり石伝説」が語られ、いつのまにかバトルのようになっていく。

2 真は、隣のクラスの一成に、クラス全員が何かにとりつかれている感じがするとわれ、さらに一成の家で驚愕の真実を知る。

最後には、クラスのみんながえがおになったんだよ。

